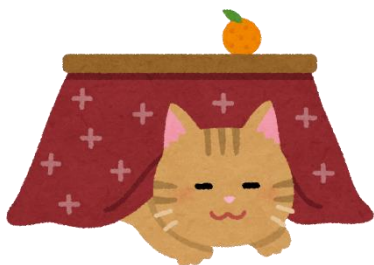


現役生は最後まで伸びる 主に3年生の皆さんへ



年の瀬も押し迫ってきました。学校推薦型選抜もひと段落。共通テストや私学の一般選抜が迫ってきました。寸暇を惜しんで机に向かう、本気の顔が増えてきています。

現役生の伸びは、11月以降です。最後の模試の判定は、1カ月前の自分の姿。年内はもちろん、来年の1・2月の、現役生の学力の伸びには、眼を見張るものがあります。

最後は、馬力勝負。気持ちが強いものが、勝ちます。!(^^)!

皆さんの先輩たちも、この時期からの粘り強い取り組みで、見事栄冠を勝ち取っています。自分のやるべきことと向き合い、強い気持ちで、ぐんぐんと押し続けていってください。

理科・地歴公民は、まだまだこれから伸びていく教科です。ある事項を一つきちんと理解したら、自信を持って正解を選ぶことができるはず。英数国の3教科は、今出来る問題を確実に出来るようにしていくことです。今の学力を保持しながら、これからまだ出来ることに、注力して行って欲しいと思います。

年末年始は、なにかと誘惑も多く、また、気持ちの上でも疲れがち。思わぬところで集中力が失われてしまうことがあります。大切なのは、健康に留意して、生活と学習のリズムを確立することです。

- 起床時間、食事時間、就寝時間を固定する
- 三食きちんと食べる
- 学習開始時間と場所を固定する
- 自分の間違えた問題の原因を理解する
- 間違えた問題、解けなかった問題を解き直す
- 十分な睡眠時間を確保する



西高には、皆さんの頑張りを支える、先生方がおられます。困ったことがあったら、学校の先生に相談してください。進路のことでも、教科内容や、勉強方法などについても、その他どんなことでも、アドバイスがもらえるはず。!(^^)!

自分を信じて、決めたことを最後までやり切ってください。

受験は団体戦

よく言われることですが、「**受験は団体戦**」です。進路が決まっている人も、これから決めていく人も、お互いが、周りの人たちの前向きな姿勢を尊重して、支えあえる良い雰囲気を保っていくことを、願ってやみません。

すでに進路を決めている人は、残りの高校生活を大切に送ってください。目標は、将来の自分の進路の実現ですね。今それぞれが手にしている「合格」は、その出発点に過ぎないのですから。!(^^)!

高3の0学期、直前 主に2年生の皆さんへ

企業や公務員への就職を考えている人には、すでに「就職者集会」が開かれています。大学・短大・専門学校への進学を考える皆さん、本気で自分の進路を考えていますか。進学希望者に対して、どの先生も言われるのは、次のフレーズです。

基礎固めは、高校3年の夏休み、8月の終わりまで。

基礎が固まっていると、応用力はグングン伸びていきます。逆に、基礎を固めずに、問題をいくら解いても結局は身に付きません。

現時点で、その**基礎固めのために残された時間は、9カ月しかないのです。**

次のようなデータもあります。

合格者の7割が、2年の秋に本気で勉強をスタート。
不合格者の7割が、3年に入ってからのスタート。

やるべきことを、**一覧表にして、具体的に書きだしてみましょ**う。そうすると、伸ばしていくべき自分の得意な所と、手当てをすべき自分の苦手な所が、見えてくるのではないのでしょうか。この時期に、するべきことは、ごまかさず、今の自分と直面することです。

そうすると、やるべきことがたくさんあることが分かります。本当に時間がないことがわかります。

自分の今の力を伸ばすためには、何時間必要で、それをどこで、何を使って作り出すのか。具体的に、自分が今立っている場所を確認してください。「なんとなく足りないところがあるな」ではダメです。自分の姿と、正直に向き合ってください。

足りない点を、**書きだしたら、それを、計画を立ててやってみましょ**う。そうすると、自分が出来ることがどれだけ少ないかが分かるはず。そうやって、自分が出来ることがどれだけ少ないかが分かると、自分の毎日の生活が変わっていくはず。

いいスタートを切ってください。!(^^)!



一つめの天王山の戦い 主に1年生の皆さんへ



高校時代には、進路実現のための、決戦の「天王山」が、いくつかあります。1年生にとって、その一つ目の「天王山」が終わりつつあります。

高校1年生の「天王山」は、この**2学期までに、高校生としての学習習慣、生活習慣が身についているかどうか**です。!(^^)!

毎日の学習に丁寧に取り組むこと、そのことが、そのまま進路実現のための取り組みとなります。具体的なことは、「**2年生の皆さんへ**」の所を参照してください。来年の3月には、「1回戦」が終わります。いい取り組みを積み重ねていってください。